

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
2000.5.16 No. 5134

沖縄ケミット粉碎! 森自公政権打倒! 石原発言弾劾!

5・28全国総決起闘争に起とう その 2

階級的団結の拡大かちとり 二一世紀の〈足場〉築こう!

反戦・政治闘争は、

労働運動再生の水路

今、日本支配階級は、憲法の「戦争放棄」すらかなぐり捨て、ガイドライン関連法を成立させ、それ以降さまざまな反動法によって「戦争のできる国」へと大きく舵をきっている。目前の二一世紀を戦争と暗黒の時代にしてしまうのか、それとも希望と展望を次世代に渡せるのか、それは今年の二〇〇〇年の攻防にかかっている。

現代の攻撃を大きくとらえる、第一に資本主義体制を救済するためにこれまでの国家・社会の仕組みを徹底的に破壊し、つくり変えてしまおうとしまおうとしていることであり、第二に、こうしたことと一体で労働者の権利や雇用や生活をすべて破壊するというものであり、第三には、ガイドライン、「日の丸・君が代」、組対法など戦争と治安弾圧体制の強化にむけた極反動攻撃である。従って我々は、日々の解雇撤回や不当労働行為、差別と闘いながら、あらゆる闘いの土台に「こんな世の中を変えてやる」という立場・

意識に立ちきり、広範な労働者の連帯を創造するために奮闘することである。全国ネットワーク運動の発展を作り上げることこそ、時代の要請に応える道である。反戦・政治闘争はそのための重要な課題であり、「企業・産別」の枠を越えた新たな階級的団結を創造していくための水路である。



「戦争協力拒否!」を宣言した99年5・21大集会(東京・明治公園に5万人の労働者が結集)

厳しい攻撃を突き抜け、今日の動労千葉、築く!

反戦・政治闘争こそ力の源泉

われわれは、「担っている。我々は決意も新に反戦・政治闘争に立とう。」

戦争協力拒否「宣言」を行動に

闘いを前史として、七九年に分離独立の偉大な勝利を勝ち取り、「分割・民営化」の嵐のような攻撃にも2波のストライキで反撃し団結をしっかりと守りぬき、全国の労働者に進むべき方向を鮮明に指し示してきた。そして昨年、三労組が呼び掛け、闘う労働者の結集体―「全国ネットワーク」運動を力強く立ち上げさせたのである。

我々は、長きにわたる厳しい闘いと、そこから得たくみ尽くせない教訓をしっかりと確認しよう。その決定的ひとつが、反戦・政治闘争を闘いぬいてきたことである。三里塚ジェット闘争の貫徹をはじめ70年安保・沖縄闘争等を牽引し、今日まで「反戦共同委員会」「百万人署名運動」に結集し、反戦の願いと怒りを大きく束ねる中軸の役割を

動労千葉は、二七回定期大会で「戦争協力拒否宣言」を満場一致で採決し内外に発した。昨年五・二一の五万人大結集を引き続き、陸海空の労働者を先頭に確実に闘いは広がっている。我々は、こうした仲間たちとしっかりと手を握り、「鉄道を戦争のために使わせない」という宣言を「行動」に移さなければならぬ。五・二八全国闘争への総力結集をかちとろう。

5・28全国闘争

五月二十八日(日) 正午
・東京・芝公園
・指定列車
千葉駅七番線
一〇時三五分(快)
最後尾